

我が息子たち、毎日のようにトカゲ、ヤモリ、カナヘビ、カマキリ、バッタ、クワガタ、セミ、カブト虫... etc. ありとあらゆる生き物たちを捕まえてきます。川辺でシマヘビを見つけて首に巻いたり、は虫類のエサとして小さなゴキブリすら捕獲して来たり、こちらからしたら「ギョエ〜!!」と言いたくなる行為も...。どんな虫でも分け隔てなく触れ合えるのはすごいことだなあ、と感嘆すると共に、新しい世界を見せてもらうことも多々あります。先日はカナヘビの卵を発見し、その卵が少しづつ大きくなり卵孵化して、ベビーカナヘビが部屋を歩いていた(はっていた)日には「うわ〜! 生まれた!!」と感激しました。



ある日は公園でセミの幼虫を捕まえてきました。数時間で羽化するといふので、ちょうど夕食終えた時だったので、ベランダの網戸につけて見守ることにしました。茶色い殻の背中部分がメリメリと破れて、うすい緑色のセミが少しづつ出てきました。「うわー!!」と家族みんなで興奮しながら(恐らく私が一番)、柔かそうな体がゆっくり出てくる様子を見つめました。途中、その体が垂直になり、下へのけぞる形になり... 落ちそう! 大丈夫?! とハラハラしましたが、そんな心配は無用で、しばらくするとうまく体を起こすのでした。くちゅとちぢまっていた羽が少しづつ少しづつ

あついな...



ロバ子



広がって伸びていきます。透きとおったうす緑色の羽はまさに「神秘的」な美しさでした。葉脈のような筋がくっきりと鮮やかな黄緑色、いつまで見ても飽きないようなその羽も時間と共に茶色ぽくなっていきました。もう夜23時近くで私も子どもも途中で寝るため観察は断念しましたが、夫が途中の様子を明け方まで撮ってくれていました。そして、朝子どもたちが起きてから、すっかり成虫となったセミは元気に飛び立っていったのでした。網戸に茶色い抜け殻を残して。美しい羽化の様子はまさに「新しく生まれる」「古いものは過ぎ去って見よ、全てが新しくなりました」という救われた者の姿を目撃したようでした。



イナバウア〜